

図書館だより

第2号(2007年5月)

城西大学水田記念図書館

図書館ホームページ <http://libopac.josai.ac.jp>

図書館メールアドレス library1@josai.ac.jp

ニーチェ詩集

語学教育センター 河内信弘

フリードリヒ・ニーチェ（1844-1900）は二十世紀に実に大きな影響を与えた哲学者であった。二十世紀の哲学の課題はニーチェを解くことだと言った哲学者がいたほどである。与えた影響は広く文学者たち、小説家や詩人に及び、むしろ彼らへの影響のほうが深いものがあった。日本も含めてなんらかの影響をうけなかった哲学者や文学者はほとんどいなかったのではなかったか。

芥川龍之介の『芸術的なあまりに芸術的な』という表現は言うまでもなくニーチェの『人間的なあまりに人間的な』を受けている。

ニーチェは詩集としてまとめて公にすることはなかった。ドイツで初めてニーチェ全集が編まれたときに、その一卷が詩に当てられて、それをもとにして後に詩集が公刊されたりして、ヨーロッパでは詩人としてのニーチェもまた大きな影響を与えたのであった。詩人としてのニーチェは日本ではあまり知られていない。

西洋文化の根幹をなしているキリスト教に神は死んだと言って楯突いたのが、教会に育ったニーチェであった。言葉は極めて激しかった。しかし現実には彼の心の中だけのことだったと言ってもよい。ニーチェの言葉を聞く人も読む人もほとんどいなかったからである。その言葉が世界に受け入れられていくころ、すでに彼は狂気の闇に包まれていた。

三十歳を過ぎるころからニーチェはほんとうに孤独であった。とぼとぼとヨーロッパを一人旅していたとあってよく、そんなニーチェの心を伝えてくれるのが詩なのである。これがあの激しい言葉を操ったニーチェの心かときと驚くに違いない。

この翻訳は十年を越える作業の集大成であり、出版が決まってからはほぼ二年、それまで訳してきたものをすべて原文と照らし合わせ、新しい訳を加え、今までの出版されたものを参照し、それを超えるべく訳者は全力を傾けた。

幸いに現代詩の長老である長谷川龍生さんが枝折を書いて下さった。「良い仕事を与えて下さった。感謝します」という返事の葉書が届き、学習院大学名誉教授 岩淵達治先生が「いままでのニーチェの訳詩の肩肘はったところがなく、こんなに素直に心に届くかと感嘆した」という内容のコメントが届いたとき、正直に言ってほっとした。3月8日付毎日新聞夕刊「詩歌の現在」の私の3冊のなかの詩の部の1冊として取り上げられた。

造本装丁はすべて書肆山田にまかせ、その出来上がりに感謝している。

河内 信弘先生より「ニーチェ詩集」書肆山田刊のご寄贈をいただき、
2階開架 941/N71 に配架いたしました。ありがとうございました。



図書館ガイダンス開催中

図書館の利用方法や資料の探し方についての講習、図書館内見学ツアーなど、「図書館を知る・活用する」ためのガイダンスを開催しています。



- 大学図書館の意義や、レポート・論文作成のための手順。
- 図書館ホームページの紹介。
 - ・各種データベースの紹介
 - ・貸出中の図書の予約方法
 - ・購入してほしい本のリクエスト
- 資料の探し方・集め方。
 - ・本学図書館の資料の検索
 - ・他大学・機関の資料の検索
 - ・国立国会図書館の資料の検索

などについて講習…

パソコンを使って実習！

- 自分が選んだテーマに関わる資料を探します。
- まず本学図書館の所蔵資料を検索。その資料を実際に書架から持ってきます。
- 次に国立国会図書館の所蔵資料を検索。図書および学術雑誌に掲載された論文を探します。（国立国会図書館所蔵資料は平成17年度末で図書8,598,798冊。逐次刊行物が11,217,918点です。）
- 検索の結果、自分のテーマに合致した論文を閲覧・印刷して入手できた方もいました。



□この他、図書館内の利用ポイントを見学するツアーも実施しています。

現在はクラス単位での実施が主ですが、ゼミやサークル、友達同士、個人での申し込みも受け付けています。「データベースの使い方を知りたい」「資料をたくさん集めるにはどうしたらよいか」など、リクエストに応じて行います。

また、「講習を受けたけどここがよくわからなかった」「新聞記事検索についてもっと知りたい」など、ガイダンス後のご質問も受け付けます。

お申し込み・お問い合わせは図書館1階カウンターまたは内線263まで。

Google検索のコツ！

Google は 1998 年に発足。その優れた検索エンジンの技術力によって、高い評価を受ける検索結果を提供し続けています。今ではウェブ検索の代名詞となった Google を、有効に使うためのポイントをいくつかご紹介いたします。

□ キーワードの設定を考える

- ・フレーズ検索 フレーズを「 ” ” (ダブルクォーテーション)」で囲むと、フレーズ (文字列) を含むページを検索します。例) 「“大学図書館の意義”」
- ・NOT 検索 キーワードの前にマイナスを入れると、そのキーワードを含まないページを検索します。例) 「環境問題 -地球温暖化」
- ・とは検索 ある言葉の意味を調べる際に、その言葉のあとに「とは」と入力すると、言葉の意味を解説するページを検索します。
- ・キーワードが不確かな場合には、半角のアスタリスク「*」を使います。あいまいな文字の部分に「*」(Google では「ワイルドカード」と呼んでいます)を入力すると、不明だった言葉が検索結果からわかります。

□ キャッシュ機能を活用する

検索結果のページが削除されていたり、サーバーがダウンしてしまって表示されない場合には、「キャッシュ」をクリックすると Google がサーバに保存したデータが表示されます。

□ 検索サイトを指定し、情報の発信源を絞り込む

キーワードに site:go.jp を加えると政府官公庁のページを検索します。

キーワードに site:or.jp を加えると法人・団体のページを検索します。

また、Google 検索画面にある「検索オプション」では検索条件の絞込みが可能です。「google について」を開くと検索方法に関する情報、特殊機能などがわかります。図書館にも下記のような新着図書が入っていますので、ぜひ活用してください。

「見てわかるグーグル最強活用術」イースト・プレス 2006/7 刊 3 階 007.58//Sa85

「はじめての Google&Yahoo! インターネット検索術」秀和システム 2006/6 刊 3 階 007.58//I57

「Google tool=グーグル・ツール」アスキー 2006/9 刊 3 階 007.58//A89

「Google Earth 完全ガイド：自分でつくる世界地図」青春出版社 2006/9 刊 3 階 448.9//G66

ネット上の無料百科事典「ウィキペディア」も、検索サイトを年内に開設する計画を明らかにしています。「日本だけで1か月に約1500万人が利用しているとの推計もあるウィキペディアと相乗効果が発揮されれば、グーグル、ヤフーなど世界大手の検索サービスに匹敵する存在になることも可能と見られる。」(読売新聞 2007年3月17日の記事)

図書館資料紹介 ② 「禁帯出資料」



赤色に「禁帯出」の文字が入ったラベル (左図) が貼られている資料が「禁帯出資料」です。「禁帯出」とは「帯出する」(資料を借りる) ことを「禁止する」という意味です。このラベルが貼ってある資料は貸出することはできませんので、図書館内で利用してください。著作権法で定める範囲内のみ複写は可能です。

オンラインデータベース ②

<Japan Knowledge 知識探索サイト ジャパンナレッジ>

「インターネット」で検索すると…

たくさんの辞書・事典類が同時に検索できます。

検索結果から、関連項目・関連サイトが提示されます。

普段何気なく使っている言葉の意味をきちんと理解したい。レポート作成で出されたテーマ、調べるのにどんなキーワードがあるのかな。…そんな時には「Japan Knowledge」にアクセスしてください。

「Japan Knowledge」は「日本大百科全書」「デジタル大辞泉」「情報・知識 imidas」「現代用語の基礎知識」「日本人名大辞典」「会社四季報」「科学技術略語大辞典」など 30 以上のコンテンツを収録、キーワードを入れて検索するだけでそれらのデータベースを一気に横断検索することができます。

「Japan Knowledge」は言葉の意味を調べるだけでなく、検索結果からその事項に関するキーワードを見つけたり、背景を掴んだりすることにも有効です。検索結果の「関連サイト」に掲載されている外部の情報へのリンクを調べることによって、その内容をより広げていくこともできるので、資料や情報を集めるのたいへん便利です。

「Japan Knowledge」では「and 検索（2 個以上のキーワードを含む検索）」も可能。

また、「東洋文庫」や「江戸明治東京重ね地図」「国旗・国歌総一覧」などの多彩なメニューも提供しています。

アクセスは図書館ホームページ→情報リンク集→国内データベース一覧から。

同時アクセス数は 1 ですので利用終了後は速やかにログオフしてください。

<パンフレットをどうぞ>



図書館では 3 種類のパンフレットを新しく作成しました。

- ・「水田記念図書館 利用案内」
- ・「資料の検索 情報検索 利用の手引き」
- ・「図書館間資料相互利用 利用の手引き」

図書館内カウンターなどにございますので、どうぞご自由にお持ちください。何部かまとめて必要な場合はご用意しますのでお申し出ください。パンフレットについてのご意見・ご質問・ご要望なども受け付けています。

図書館 1 階カウンターまたは内線 263 まで。